

国家的に重要な研究開発の評価について

～AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project
人工知能／ビッグデータ／IoT／サイバーセキュリティ統合プロジェクト～

平成 28 年 4 月 5 日

評価専門調査会

1. 評価の実施について

平成 27 年度に実施した本プロジェクトの事前評価においては、「本プロジェクトは国として主導的に取り組むべきものであり、国費を投入して実施する意義・必要性は認められる」とされた一方で、「現時点での提案はプロジェクトの実効性において不十分な点が多く、将来ビジョンや目的・目標等をより明確化する必要がある」としたうえで、「本プロジェクトについては、実施体制、開発戦略等が明確になり、本格的な予算執行が開始される前に改めての評価(再評価)を行う」とされた。

今般、本プロジェクトのセンター長をはじめとする実施体制が決まり、平成 28 年度の研究開発が開始されることを念頭に、再評価を実施する。

2. 評価の進め方

(1) 評価検討会の設置等について

評価専門調査会に評価検討会を設置して調査検討を行った上で、評価専門調査会がとりまとめた評価結果(案)について総合科学技術・イノベーション会議において審議を行い、評価結果を決定する。

評価検討会の委員は、評価専門調査会に属する総合科学技術・イノベーション会議の議員及び専門委員の中から、評価専門調査会会長が指名した者(座長として指名した者を含む)及び同会長が調査検討に必要と認めて選考した外部の専門家・有識者等とする。

また、評価検討会は非公開で行い、評価検討会終了後に会議資料、委員氏名等を公表する。

(2) 実施スケジュール(予定)

平成 28 年 4 月 5 日 第 116 回評価専門調査会

評価検討会設置の確認

文部科学省からの聴取

平成 28 年 4 月～5 月 評価検討会(2 回程度)

文部科学省からの聴取に基づく調査検討

評価結果原案のとりまとめ

平成 28 年 6 月

(日程調整中)

第 117 回評価専門調査会

評価結果案のとりまとめ

総合科学技術・イノベーション会議

評価結果案の審議・決定

3. 評価の対象となる研究開発の概要

「AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project 人工知能／ビッグデータ／IoT／サイバーセキュリティ統合プロジェクト」

【文部科学省】

<事業概要>

革新的な人工知能技術の中核とし、ビッグデータ解析・IoT・サイバーセキュリティ技術を統合する次世代プラットフォームを形成することで、科学技術研究の革新及び様々な応用分野での実用化の加速を進める。このため、世界的に優れた競争力を持つ研究者の力を結集した新たな研究拠点(AIPセンター)を構築する。

その際、脳科学や認知科学の研究成果も活用するとともに、文部科学省・総務省・経済産業省で連携した研究開発も実施する。あわせて、情報科学技術に関わる研究者育成に取り組む。

<実施期間> 平成28年度～平成37年度

<予算額> 54億円(平成28年度)